

って察知されておったわけでありましたが、結果的にはこうなった。事件があつてなるほど前にこういうような事案があつたんだということが二、三指摘されております。その内容も普通の正常な子供ではやらないような内容のものである。家庭でも同じで古閑先生からありましたように、家出を突然するということではなくて、前に何か異性から電話が来たとか、手紙が来たとかあるいは万引き少年であります、親の買つてやらない品物を持つていたりとか友人から借りたとかやはり前兆を早く察知して対策を立てることがたいせつです。もう一つさきほどらのお話にありました学校でも親でも、何でも相談できる先生とか親であつてほしいなあと思うのであります。例えば隣にいる宮本さんがヤングテレホンを担当していますが、相談の内容をみてみますと、何でもこんなことを言つてこなくちゃならないんだ、こんなことは親の立場で解消できるんじゃないか、あるいは学校の教師の考えでおさまる内容ではないかということがありまして、何でも相談できる親であり教師であつてほしいと思うわけでありまして。次に地域社会の問題であります、我々の方では事故防止のことで愛の一声運動となえているわけでありまして、例えば危険な場所ですすべりをしてる子については、他人の子だからかまうことはないというものではなく、自分の子供同様に愛の一言をかけてやつて事故防止を図る。

非行防止も同じだと思ひます。やはり地域社会の人々が自分の子供と思つてめんどろをみてやるのが大事であると思ひます。それからもう一つは、少年を取り巻く有害環境の問題についてお話ししましたが、警察だけが表面にたつて自動販売機がどうだと言うよりも、むしろ地域社会のかたがたの盛り上がりでそれらのものを排除するということが大事だと思ひます。

司会

ありがとうございます。他人の子供も自分の子供と同様に、それから環境の浄化を積極的にやるべきだ。大人の心構えとして大事だということですから、ほかに我々大人は何をなすべきか。福地さんどうぞ。

福地

子供たちをとらえる場合に、学校教育の場だけでなく、やはり地域の中でも児童の対応策に積極的に取り組んで行くべきではないか。つまり親子の接触の場を地域ぐるみで考えていく。具体的には親子ソフトボール大会をやるとか、運動会をやるとか、そういう地域での親と子の総ぐるみの接触の場を積極的に考えていかねばならないのではないかと。そういう中から地域の連帯感とか、あるいは大人と子供の触れ合いというものが生まれてくるんじゃないだろうかと思ひます。

司会

梅津さん、いかがですか。

梅津

それに関しては、子供会とか育成会の輪を広げていくことが、地域社会にとって一番たいせつなことではないでしょうか。そのためには小グループ・部落で何人でもいいからというところから大人が子供たちといっしょにという気持ちが必要なんじゃないかと思ひます。

司会

小グループで親と子の接触をということですね。次に伊勢さんどうぞ。

伊勢

子供会の中には野球部・ソフト部などみんなあるわけです。ところで子供の目をみんなの提唱でもった。子供との対話をほんとうにやつていただきたい父親に、やつていただけたかどうかを見ると、これにほんとうに対応できない人がいる。そういう場合、我々は何をなすべきか。先ほどいいましたように、それなりの相談機関があるんです。それをもつと積極的に活用してほしいということなんです。相談機関もまた積極的にPRもしなくちゃならないと思ひます。学校に望みたいという一番の問題にも関係しますが、事前に通学路等学警連なんかと連携をとつておられたようですが、児童相談機関と相談していただくか、学校は遠慮なさつて。要するに積極的に出て来ない家庭こそ問題なので次善の策を講じてやる必要があるんです。

司会

関係機関それぞれあるのを、じゅう

ぶんに活用してほしいという御指摘です。そのほか「我々は何をすべきか」はい、加賀さん。

加賀

これには健全育成という面と、早期発見だと思います。非行児を扱つてみますと、発見が早ければ早いほど回復も早いと思ひます。特に非行はエスカレートします。小学生の話などいろいろ聞きますと、こういうことをやつても見つからなかつたんだという言葉をよく聞きます。そういうことで前期症状がありますし、そういうことを大人たちが気を付けながら早期発見してほしいと思ひます。それから、遊び型の非行が多くなりますと、テレビの影響とかいふんな雑誌の影響とか、模倣しちゃうんですね。どうしてそうしたのという、テレビでやつたというんですね。このへんですと大人と話し合いが必要なんです。それから非行をした子供たちで、万引きや窃盗をやつた子が、自分あまり欲しくなかつたんだが入つてみたら一万円札がいつぱいあつたのでガッツと取つたら百万円だつたとかいう結果もよく出てくるので、大人はもつと身辺を整理してほしいと思ひます。物をたいせつにすることと、大人側がお家でお金を不意なところに置かないことです。あの子供たちと会つてよく感じます。それから盗んだ金で物を買う時に、お店の人が注意しないという現象がある。例えば、小学校五年生ぐらいの子供が三万五千円の自転車